

K O M A K I



新しい総合計画策定のための

# 市民まちづくり研究会

- まちづくり提案書 -

概要版

平成20年4月

# はじめに…

---

---

この“市民まちづくり研究会”は、小牧市の新しいまちづくりを定める「第6次小牧市総合計画」の作成にあたり、20代から80代までの幅広い年齢層で、かつ、学生や会社員、主婦、ボランティア活動をする人、市役所職員など、仕事もさまざまな市民40名が集い、これからの小牧市のまちづくりについて考える場として立ち上げられました。

平成19年8月から平成20年1月までの約半年間にわたり、計8回の話し合いを重ね、この「まちづくり提案書」をまとめました。

この「まちづくり提案書」には、話し合いの結果まとめられた、9つのまちづくり提案“プロジェクト”を掲載しました。

「こどもまちづくり研究会」に参加されるみなさんも、『これからの小牧市はこんなまちになったらいいなあ』という自身の想いがあると思います。ここに掲載されている9つの“プロジェクト”が、「こどもまちづくり研究会」での話し合いの参考となれば幸いです。



# 1 障がい者・高齢者をひとりぼっちにしないプロジェクト

## < 目的 >

地域みんなが地域で暮らす障がい者やお年寄りなどの現状を知り、地域みんなで協力して、見守り・助けあうことで、誰もが暮らしやすい社会をめざします。



## < 取り組みの内容 >

### 障がい者や高齢者の立場を「知る」

学校で「福祉について学んで、実践してみる教室」を開く  
みんながボランティアに参加しやすい仕組みをつくる（ボランティア貯金 など）

### 障がい者や高齢者が暮らしやすい「環境をつくる」

障がい者の方やお年寄りが、困っているときに手助け・お手伝いをする（家事のお手伝い、外出や買い物のお手伝い など）  
病院に行くときなど、車で送り迎えをするサービスをつくる

### より開かれた社会を目指す

福祉サービスを受けている人が、よりよいサービスを受けられるように、意見が言えるような意見交換の場をつくる

## ボランティア貯金とは・・・

健康なうちに障がい者やお年寄りの介護、あるいは地域の環境整備などのボランティア活動を行い、活動の時間をポイントとして貯蓄する。将来いざ自分が病気になったときなどに貯めておいたポイントを使い、ボランティアによる介護が受けられる制度



# 2

## 次世代のこころ育てプロジェクト

### < 目的 >

まちづくりで大切なことは、人づくり。人づくりで大切なことは、次の時代を担うこどもたちが健やかに成長すること。こどもたちが、人へのやさしさや道德などの豊かな心と規則正しい生活習慣を身につけられるよう、地域みんなで見守ります。



### < 取り組み内容 >

#### 地域と学校などが協力する

こどもからお年寄りまで世代を超えた交流ができる場をつくる  
学校の情報を地域に発信し、地域は学校開放や体育祭などの学校事業に参加する

「こども憲章」を制定する

#### 地域ぐるみの次世代育成

お父さん、お母さんだけでなく、近所のおじさん、おばさん、商店街のおじさん、おばさんなども一緒になってこどもを見守る

### 「こども憲章」イメージ

- ・おはよう、ありがとう、ごめんなさいを言いましょう
- ・人には親切にしましょう
- ・弱いものいじめをしない

・・・など



# 3

## 中心市街地活性化プロジェクト

### < 目的 >

小牧がみんなに自慢できるまちになってほしい。まちの賑わいはまちの活気のバロメーターなので、小牧駅を中心とした中心市街地（駅前周辺）に賑わいを感じられるまちをめざします。



### < 取り組み内容 >

#### イベントの開催

小牧駅周辺や西地区商店街をにぎやかにするために、さまざまなイベントを継続的に開催する（商店街や市民団体などみんなと一緒に開催）

#### 歴史を活かしたまちなみ整備

小牧にある歴史（小牧山、織田信長 など）を活かしたまちなみをつくる

小牧駅から小牧山につながる道を、まちのメインストリートとしてつくる

メインストリートでは、定期的に（毎週日曜日の午後など）歩行者天国を設置して、人が集まり・賑わう場所にする

#### 人の集まる建物（図書館、文化芸術施設など）をつくる

魅力ある施設（図書館、音楽ホール、飲食街など）を建設する



# 4 交通問題改善プロジェクト

## < 目的 >

小牧のまちが賑わうためには、多くの人に来てもらうことや、みんながまちに出やすくなることが大切です。そのためには、バスを充実するなど使いやすい公共交通をめざします。



## < 取り組みの内容 >

### 交通網・道路網の見直し

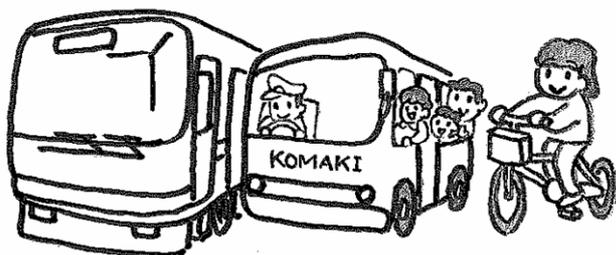
道路や交差点、信号などを改良し、交通渋滞を解消する

### バスの見直し

市民が利用しやすいバス路線、運行時間を見直す  
デマンドバス など、新たな公共交通システムを考える  
みんなが公共交通の利用を心がける

### 歩行者・自転車優先のまちづくり

歩道、自転車道をつくり、歩きやすい、自転車に乗りやすいまちをつくる  
トランジットモール（歩行者専用道路にバスなど公共交通のみ運行）を導入する



## デマンドバスって何？

利用者の希望に応じて運行するバスの形態。決まった時間や運行ルート以外に、運行時間や運行ルートなどを柔軟に設定することができる。

# 5 だれもが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト(防災、防犯、交通安全)

## < 目的 >

地域での日常的なあいさつ、声かけ、地域リーダーの養成などを通して、こどもからお年寄りまで、だれもが安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。



## < 取り組みの内容 >

地域住民の“自助”意識を高める－自分でできることは自分です－

地震に備えて、家族で話し合う

家具の転とう防止、非常持出品（ラジオ、非常食、水など）の確保、災害伝言ダイヤルの活用をすすめる



地域の“共助”意識を高める－日頃から地域で助け合う－

地域・隣近所での防災訓練を実施する

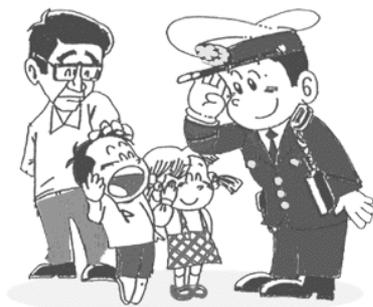
地域に住んでいるお年寄りや障がい者など避難が難しい人の実態を把握する

防犯パトロールを実施する

公助・継続・定着－地域の防災・防犯・交通安全は息の長い活動－

交通事故や犯罪などが発生しそうな危険箇所をリストアップする

災害に強いまちづくり（災害が起きても水道や電気などが止まらない、救急車が通れる幅を持った道路の建設 など）をめざす



# 6

## 地域の立て直しプロジェクト

### < 目的 >

地域活動は町内会を中心に行われていますが、町内会に入らない人が増えるなど地域のあり方が変化しています。住みよいまちをみんなで作っていくために、地域組織（地域のつながり）の立て直しが必要です。



### < 取り組みの内容 >

#### できるだけ多くの人に参加してもらう

町内会・自治会、子ども会などの活動を多くの人に知ってもらう  
町内会・自治会、子ども会などの活動・行事への参加を呼びかける  
住民の意見を反映した活動を行う

#### 継続して参加できる環境をつくる

若い人・外国人・引っ越してきた人も参加しやすい仕組みをつくる

#### いろいろな人に役割をもってもらう

元気なお年寄りなどに、町内会の活動に参加してもらう



# 7

## 環境を守る美しいまちづくりプロジェクト

### < 目的 >

環境宣言にふさわしいまちづくり。環境への負担を減らし、みんなが気持ちよく生活ができる、誇れるまちをめざします。



### < 取り組みの内容 >

#### みんなで美化活動

地域をきれいにするため、地域清掃隊を結成し、それにより清掃活動の実施（みんなで楽しんで美化活動！）する

地域清掃隊が清掃をかねて環境調査を実施 グリーンマップ（地域にある緑を地図にする）を作成する

#### ごみが資源になる

こどもから大人までごみの分別を指導（外国人にも分かりやすく伝える）する

生ごみの資源化を促進する（生ごみをたい肥化して野菜づくり）

ごみエネルギーシステムを構築する（バイオマスエネルギー）

#### 持続可能な社会

太陽光や風力など新しいエネルギーを活用する

みんなで電気や水の節約をおこなう

田んぼや里山手入れのお手伝いや工芸づくりなど行い、田んぼや畑、里山（近くの山林）を守り・育てる

### バイオマスエネルギーって何？

生物体（バイオマス）から得られる自然界の循環型エネルギー。薪を燃やしたり、動物の糞を燃料にするといった伝統的なものから、サトウキビをエタノールにして車の燃料にしたり、生ごみで発電を行うなどの近代的な技術までさまざま。木や生ゴミ、動物の糞尿などに含まれる炭素や水素を、発酵・分解・燃焼することによってエネルギーを取り出します。



# 8

## それぞれの文化 さまざまな芸術を楽しむ まちづくりプロジェクト

### < 目的 >

文化・芸術に親しむことは、人の心の豊かさにつながります。市民一人ひとりが、さまざまな文化や芸術に日頃から親しむことができるまちをめざします。



### < 取り組みの内容 >

#### 絵画や音楽などの市民サークルをみんなにPRする

団体の交流をおこない、みんなの活動を活発化する  
それぞれの活動を多くの人にPRして、新しいメンバーを増やす

#### 地域の特徴ある文化資源の発見

各地区で行われている文化芸術活動を広くPRする（大草棒の手、バンブーインスタレーション など）  
史跡・文化財・伝統芸能・自然を活用した新たな文化芸術活動を発掘する

#### 小牧らしい文化芸術活動や市民主体の活動の活発化

小牧独自の文化芸術イベントを開催する（メナード美術館・大学・中部フィルハーモニー交響楽団と連携したイベントなど）  
文化芸術関連施設（音楽ホール・美術館など）を充実する  
市民が中心となった文化芸術活動をすすめる

# 9

## 「小牧は一つ 地球家族」と皆が思う まちづくりプロジェクト

### < 目的 >

日本人と外国人が国籍の区別なく、共に地域で暮らす住民として、お互いに支え合う関係を築くことをめざします。



### < 取り組みの内容 >

#### 外国人も含めて地域みんながお互いを知る

隣近所に住む外国人との交流機会を増やす（地域のイベントへの外国人の参加など）

みんなが、お互いの違いを認め合い、尊重して共に暮らすことの大切さを知ってもらえるよう、セミナーなどを開催する

外国人も自治会に入ってもらう

#### 外国人への支援を充実する

外国人が地域で暮らしやすいように、住居、教育など必要な支援を行う

外国人の外国人によるネットワークをつくり、そのネットワークを利用したイベントや交流会を開催する

#### 行政・市民・企業が一体となって「地球家族宣言」を行う

日本人と外国人が垣根を取り除き、地域で共に生きるパートナーとして暮らしやすい環境をみんなで作ることを宣言する